

ドラム缶への連続充填

適用範囲

本対策シートは、リスクレベル 3 が適用されるときに使用する。

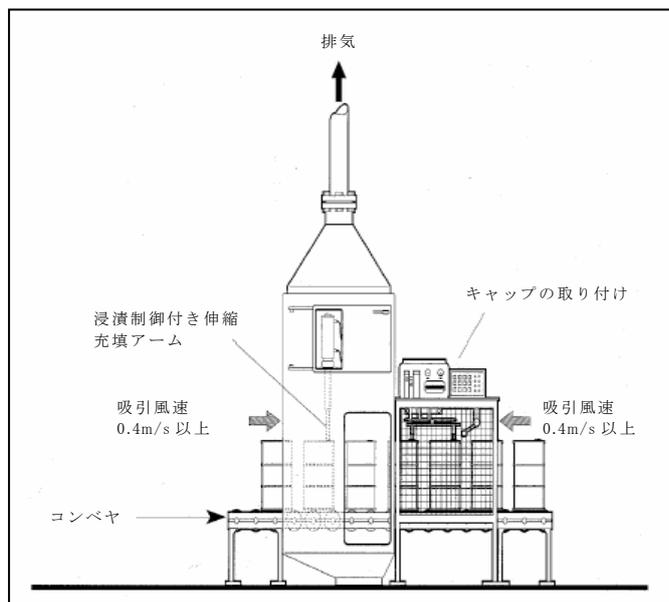
本対策シートは、ドラム缶へ液体を連続充填するときの好事例および化学物質のばく露を許容できる濃度まで低減するために必要な注意事項を示す。すべての好事例と注意事項に従うことが重要である。化学物質によっては引火性または腐食性があるので、これらの危険性に対しても適切な管理が必要である。詳細は、各化学物質の安全データシート (SDS) の注意事項を参照すること。

本対策シートは作業者の健康を守るための最低限の基準を示すが、工程管理またはその他のリスク管理に必要な基準より低い管理基準を正当化するために利用してはならない。

作業場

- 関係者以外を作業場に入れないようにし、風下で誰も作業していないことを確認すること。

設計と装置



- 換気の良い場所に装置を設置すること。
- 掃除と保守時の作業性を考慮して装置を設計すること。
- ドラム缶への充填作業とキャップの取り付け作業は、できる限り囲い式フードの中で行うこと。
- すべての開口部はできるだけ小さくし、コンベヤと接するドラム缶入口とドラム缶出口にカーテンを取り付けること。
- 囲い式フードの開口部の吸引風速はすべて 0.4m/s 以上とする。

- ロードセルまたは流量計を使って、過充填を防ぐこと。
- 漏れ受けが充填アームに取り付けられているか確認すること。
- 充填領域に漏れ溜めを設けること。
- 十分な明るさを確保すること。
- 引火性の液体を扱う場合は、全ての電気機器が防爆構造になっていること、および全装置が適切に固定され確実にアースされていることを確認すること。
- 扉、窓、および吸気口から離れた安全な場所に排気すること。

本シートは、ILO の著作物である「The Chemical Control Toolkit」について、厚生労働省が ILO より許諾を得て翻訳し、内容の改変を行ったものである。

原本： http://www.ilo.org/legacy/english/protection/safework/ctrl_banding/toolkit/icct/sheets/tcs-305.pdf

Original version of the International Chemical Control Toolkit Copyright © International Labour Organization.

Japanese translation Copyright © 2012 Chemical Hazards Control Division, Ministry of Health, Labour and Welfare.

The ILO shall not be responsible for the quality and accuracy of the translation.